



神奈川

発行 立命館大学
 校友会神奈川県支部
 〒 221 横浜市神奈川
 区鶴屋町 2-21-9
 トーア(株)内 広報担当
 (発行 1300部)
 ☎ (045) 312-1321

第5回神奈川県支部総会開かれる

本日(3月8日)は御多忙な折、多数の校友の方々、御出席下さりありがとうございます。ここに第5回支部総会を開催致します。

- ・日時 昭和62年3月8日(日)午後4:00～
- ・場所 ヨコハマプラザホテル(横浜駅東口)
 住所 横浜市西区高島 2-12-12
 ☎ 045-461-1771
- ・来賓 谷岡武雄 総長
- ・アトラクション ビクター専属歌手 岡 ゆうこ

61年度忘年大会も盛況に終わる 小西 和秀(昭42年理工)

61年度最後の行事として、12月7日(日)横浜中華街の一角、ホテル・アスターで盛況に開かれました。今年は、忘年会の前に講演会を設けました。講師は重谷 務さん(33年文)で、去年の夏、中国とブータンとの国境のチリン峰踏破に挑まれた経験談を披露して頂きました。スライドを混じえながらの講演は、山の美しさ、地元の人々の生活状況、登山の厳しさ等々が実に切々と伝わって来ました。重谷さんには、この紙面をお借りしてお礼申しあげます。講演会に続いて宴会に入りました。参加者は約60名。山口健二さんの司会のもとで、支部長の挨拶、東京支部長よりの祝辞にはじまり、校歌斉唱と乾杯でいよいよ忘年会の真只中へ……。一年間の諸々の話、会社では気軽に出来ない話、先輩・後輩との話等々で親睦をより一層深められたような雰囲気になってきました。また料理も中華料理のいろいろなものが盛り沢山に準備されました。会場には、昨年の総会の写真の展示、山口富美恵さんの自序伝書の販売、カラオケやジャンケンゲームの催しで、楽しい一時でした。御婦人やお子様の同伴でも初めて参加された方々でも、神奈川県支部ならではの和やかな雰囲気でした。最後に相沢副支部長の立命館大学の現況報告等で締括って頂きました。3時から始まり閉会は6時すぎで、実に3時間以上に渡り、時の過ぎるのも忘れた様な気がしました。最後に参加された方々、幹事の皆様方にお礼申し上げます。次回の忘年会には案内状のみによらず、お知合いの校友のみなさんに声を掛けて、是非参加して下さい。

※ 神奈川県支部では会員相互の親睦をはかるため毎月第3水曜日に会合を開いています。落ちついて、ゆっくり話し合いが出来る会場(横浜駅周辺)を探しています。心あたりがありましたら紹介して下さい。

第5回 神奈川県支部総会開催にあたり、支部役員(案)・昭和61年度会計報告・昭和62年度会計予算案・神奈川県支部のあゆみを提案・報告致します。

○ 支部役員 (案)

顧問	関口要三 (大14年専経)	小田切義雄 (18年文)				
支部長	勝田寛一 (25年文)					
副支部長	西村弘 (26年経)	岸本哲夫 (26年法)	相沢良信 (30年理工)			
幹事長	斎藤寿弥 (27年経)					
副幹事長	茂山哲也 (31年理工)	浜田平穂 (31年文)				
監事	森田康夫 (19年理)	織田陽司 (35年理工)				
幹事	武田山本	福田上田	桜本	重谷		
	登川石井	車小野	松田	芝野		
	小西山	橋本都築	谷本	長谷川		
	山下(保)川俣	長浜泉				
会計	上田長浜					
名簿	登川都築					
広報	武田上田	都築	長谷川	山下		
事務局	長浜田					

○ 昭和61年度 立命館大学校友会 神奈川県支部 会計報告 昭和62年3月8日
 会計 上田 隆
 長浜隆文

収入の部		支出の部	
前年度より繰越	85,390	総会費用(横浜国際)	816,500
年会費	216,000	クアトラクション	100,000
会費(年会費・総会)	790,000	通信費	250,640
会費(忘年会)	323,000	写真	19,570
寄付金	257,315	忘年会費用	339,400
		他支部総会祝儀	60,000
		雑費	15,570
		次年度へ繰越	70,085
計	1,671,705	計	1,671,705

○ 昭和62年度 立命館大学校友会 神奈川県支部 会計予算案

会計 上田 隆
 長浜隆文

収入の部		支出の部	
前年度より繰越	70,085	印刷費	70,000
年会費	300,000	総会費用	800,000
会費(年会費・総会)	800,000	通信費	300,000
会費(忘年会)	300,000	忘年会費用	300,000
集會会費	700,000	集會費用	50,000
寄付金	100,000	雑費	100,000
		次年度へ繰越	50,085
計	1,670,085	計	1,670,085

会員一人ひとりの会費が、支部の充実した運営・発展に結びつきます。
 皆様の御支援・御協力を御願い致します。

○ 神奈川県支部のあゆみ

・支部設立にむけて

昭和57年10月神奈川県在住の立命館校友名簿にもとづいてトーア㈱の相沢・福田・浜田様が神奈川県支部設立の意見を求めるハガキを発送

・昭和57年10月～昭和58年2月 世話人会・準備会

- ・ 〳 58年2月11日 神奈川県支部設立総会 於：川崎日航ホテル
- ・ 〳 58年3月6日 講演会「徳川家康」NHKチーフディレクター 大原誠氏
- ・ 〳 58年4月17日 美術鑑賞会 東京都美術館
- ・ 〳 58年5月8日 講演会「政界放談」前衆議院議員 田中伊三次先輩
- ・ 〳 58年8月28日 講演会「日本人はどこからきたか」田辺昭三氏
- ・ 〳 58年10月16日 ハイキング 厚木高松山

※ りつめい神奈川 創刊号・2号・3号・支部名簿発行

◎ 昭和59年度

- ・ 昭和59年4月1日 第2回支部総会 於：ヨコハマプラザホテル
- ・ 〳 59年4月15日 第2回美術鑑賞会 東京都美術館
- ・ 〳 59年5月13日～14日 第1回ゴルフコンペ 於：館山カントリークラブ
- ・ 〳 59年6月10日 講演会「日本の仏像について」淀井敏夫氏
- ・ 〳 59年7月18日より毎月第3水曜日に情報交換会 (仮称)
- ・ 〳 59年10月9日 第2回ゴルフコンペ 於：平塚富士見カントリークラブ
- ・ 〳 59年10月21日 第1回海つり大会 於：片瀬江ノ島・相模湾
- ・ 〳 59年12月9日 忘年大会 於：横浜大飯店
- ・ 〳 60年1月～3月 総会開催のため幹事会・準備会

※ りつめい神奈川 4号・5号発行

◎ 昭和60年度

- ・ 昭和60年3月21日 第3回支部総会 於：横浜国際ホテル
- ・ 〳 60年4月7日 第3回ゴルフコンペ 於：沼津国際カントリークラブ
- ・ 〳 60年4月14日 第3回美術鑑賞会 於：東京都美術館
- ・ 〳 60年9月28日 ヨットの会 於：江ノ島ヨットハーバー
- ・ 〳 60年10月6日 第4回ゴルフコンペ 於：沼津国際カントリークラブ
- ・ 〳 60年12月8日 忘年大会 於：ホテル・アスター
- ・ 〳 61年1月～2月 総会開催のため幹事会・準備会

※ りつめい神奈川 6号発行

◎ 昭和61年度

- ・ 昭和61年3月2日 第4回支部総会 於：横浜国際ホテル
- ・ 〳 61年4月13日 第5回ゴルフコンペ 於：沼津国際カントリークラブ
- ・ 〳 10月4日～5日 ヨットの会 於：江ノ島ヨットハーバー
- ・ 〳 10月12日 第6回ゴルフの会 於：沼津国際カントリークラブ
- ・ 〳 12月7日 講演会「チリン峰を語る」重谷 務氏
忘年大会 於：ホテル・アスター

※ りつめい神奈川 7号・8号・号外発行

◎ 昭和62年度

- ・ 昭和62年3月8日 第5回支部総会 於：ヨコハマプラザホテル
- ※ 講演会・ゴルフコンペ・ヨットの会・つりの会・マーシャンの会・第3水曜日の会・忘年大会等を計画していますので本年も多数の御参加を御願ひ致します。

昭和62年1月14日 読売新聞夕刊

中川小十郎氏の

「西園寺論」の目

立命館大が出版

立命館大の創立者で元老・

西園寺公望の御近侍だった中川

小十郎(一八六六―一九四四)

「写真」が、明治、大正、昭

和の三代にわ

たる政権の推

移をつづけた

「近代日本の

軍部に対しては露骨な反感を

示している。日露戦争前には、

排外主義の急先鋒(きょうせ

んぼ)となった対露同志会

ら大学に小十郎の遺稿が蓄積

された際、そ

のまま眠って

いた約三千二

百枚の原稿が見つかり、近代

日本政治の裏面を生々しく伝

える貴重な資料として公刊す

ることになった。

中川は、西園寺が文部大臣

時代に秘書官を務めるが、常

にその身边にあり、二度の首

相経験の後「最後の元老」と

して長くキング・メーカー

の役割を果たした西園寺と

もに政界の表裏に通じてい

た。



政綱と西園寺

手帳

普通法重現の記

述もみられる。また、平民

相原敬の組織について、従

来は西園寺が高齢を理由に天皇

の組織指名を断つたため原に

まわったとされていたが、実

際はそれほ単純ではな

く、西園寺も政権担当に相当意欲

を見せつけていたとを伝えてい

る。

その一方で、天皇中心主義

で朝鮮、台湾などの植民地支

配を当然視している。吉川弘

文館刊。九千五百円。

朝日アマ将棋

全国大会開催される

朝日新聞社主催の「第10回朝日アマチュア将棋名人戦」全国大会は2月22、23の両日にわたり東京・有楽町駅前の朝日新聞記念会館で開催された。立命館大学から3年連続近畿代表がでていたが、文学部2回生の浜信一郎君は惜しくも敗退した。



浜信一郎 (19)

将棋部主 部二回生で 館大学文学 木市、立命 大阪府茨 将棋部主 部二回生で 館大学文学 木市、立命 大阪府茨 将棋部主 部二回生で 館大学文学 木市、立命 大阪府茨

昭和62年度

入試受験者総数 53,364人!

立命館大学	650	6,728	10.4
経済学	650	6,032	12.4
経営学	650	8,820	13.8
産業社会学	700	9,649	13.8
文学部	120	1,679	14.0
心理学	250	2,670	9.2
文学部	200	2,365	11.9
文学部	90	849	9.4
理工学部	90	1,224	13.6
工学部	100	1,805	18.1
理学部	80	1,959	24.5
工学部	80	2,222	27.8
工学部	100	2,789	17.1
工学部	80	1,751	15.6
工学部	200	418	2.2
工学部	200	512	2.6
工学部	200	626	3.0
工学部	150	393	3.0
工学部	100	373	3.7

立命館大学では本年度より理工学部情報科が新設され、また63年4月には国際関係学部が新設される。総合大学としてますますの発展が期待される。

★★★ 魅力あるふるさと——わたしと町づくり論で昭61年度エッセー読売賞を受賞した山本由美子さん(昭48年法卒)が今まで各紙に投稿掲載された原稿をこのたび一冊の本にまとめ出版した。思想や意見が濃縮されていて一読に値する本である。題は「原稿用紙は友たち」

著者略歴：1951年 徳島県生まれ。尼崎市立塚口小学校、同塚口中学校、大阪府立北野高校、立命館大学法学部卒。現在、ライター兼エディター。

著書「愛をありがとう」「浦島太郎」「聞き耳頭巾」

「はあとにごちそう」「新少女の童話」

主な大学別社長数と倒産率			
大 学	社長数	倒産数	率%
大 大	12027	1081	8.9
日 大	11291	813	7.2
早 大	8522	792	9.3
明 大	7900	451	5.7
慶 大	7210	690	9.6
中 大	5192	514	9.9
法 大	4301	123	2.8
東 大	4093	319	7.8
同 大	4057	343	8.4
立 命 館 大	3008	252	8.4
関 立 大	2814	191	6.8
京 大	2680	139	5.1
立 近 大	2414	163	6.7
立 近 大	1854	147	7.9
立 近 大	1600	148	9.2

東大出身社長やっぱり強い
倒産企業調査 2.8%

法政や中央大出身の社長がいる企業はこの十年で10%近くが倒産、社長が東大出身の企業の倒産率は三%弱——。民間の信用調査機関「関東商工リサーチ」の調査でこんな結果が出た。社長になった卒業生が多い大学の出身者ほど倒産の憂き目に遭った人が多いということらしいのだが。同社のデータ・バンクが52年1月から61年7月までの間に集録した約60万社のうち、倒産した四万三千四百八十三社の社長を学歴、大学別にみたもの。それによると新制高卒が35%で最も多く、これに大卒26%、旧制高小卒13%と続いていた。さて立命館は・・・。

各 担 当 者 か ら の お 願 い

- 会費払込みのお願い (会計担当 上田)

会員一人ひとりの会費が、支部の充実した運営・発展に結びつくことと御認識のうえ 皆様の御支援・御協力を御願ひ致します。

振込先は 下記いずれの機関を通じても結構です。

(1) 銀行 横浜銀行 横浜駅前支店
普通預金 No.8 2 5 2 2 9

(2) 郵便局 横浜中央郵便局
振替口座 No.横浜5-1 0 7 9 9

※ 口座名はいずれも「立命館大学校友会神奈川県支部」

(3) 現金書留 下記事務所まで
〒2 2 1 横浜市神奈川区鶴屋町 2-21-9
三善ビル トーア物横浜支店内 浜田平穂

(昭和62年3月8日総会出席の方は、当日の会費に含まれています。
昭62年3月8日～昭63年3月31日有効 ¥3,000)
- 勤務先・住所など変更の時は事務局まで御連絡下さい。(名簿担当 登川 部 築)
- 求人・求職の募集を致します。事務局へ御連絡を!
- 協賛広告を御願ひ致します。

編 集 後 記

- ・ 第9号をおとどけます。会員の方々に少しでもお役に立つよう、読んで楽しい広報となるよう工夫したつもりです。編集についてご意見ありましたら、お寄せ下さい。
- ・ 会員ならびに御家族の皆様のご積極的な投稿をお待ちしております。
- ・ 神奈川県支部では校友相互の親睦をはかるため、ゴルフの会、ヨットの会、つりの会、美術鑑賞会、講演会、水曜日の会・・・を計画しています。また全国一のアットホームな支部となるよう幹事一同がんばっていますので会合には出来るかぎりの御出席を御願ひ致します。

(広報担当 武田、上田、部築、山下、長浜、泉、長谷川)

近未来を見つめるライフ・デザイナー

トーア株式会社

主な事業内容

アパレル

宝石貴金属

毛皮

化粧品

呉服

出版

健康関連

貿易

外食

総合不動産

本社：大阪市大淀区中津1丁目6-24（世界長ビル）

〒531 電話：06(372)4051（代表）

東京本部：東京都港区南青山2丁目24-15（タワーアネックスビル）

〒107 電話：03(423)2811（代表）

横浜支店：神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-21-9（三善ビル）

〒221 電話：045(312)1321（代表）

京都営業所：京都市下京区松原西堀川西入ル北門前町761（セントラルビル2F）

〒600 電話：075(801)8726（代表）

神戸営業所：神戸市中央区明石町18（大日明石ビル3F）

〒650 電話：078(392)1191（代表）

代表取締役社長 相澤良信（昭和30年理工）